

デジタル温湿度計「リテモ・ミニ」

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるよう大切に保管してください。

輸入販売元 株式会社 ドリテック

〒333-0811 埼玉県川口市戸塚2-11-8

URL : <https://www.dretec.co.jp>

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合は本書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本書のご提示がない場合。
 - ※一般家庭以外（例として、商用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 電池は保証対象外です。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料お客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただきます場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく上記目的以外には利用いたしません。

〈保証書〉

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

品 番	O-448			
保証期間	お買い上げ日より	1年間	本体	☐ 持込修理
お買い上げ日	年	月	日	
お 客 様	お名前			
	ご住所 お電話			
販 売 店*	販売店名			
	ご住所 お電話			

販売店様へ：* 欄は必ず記入してお渡しください。 25-04

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。以下の警告マークを表示している事項はいずれも安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

	警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
	注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
	禁止	してはいけない内容
	指示	実行しなければならない内容

△ 警 告

- 絶対に分解・修理・改造をしない。
- 乳幼児や自分で操作ができない人、補助を必要とする人、取り扱いに不慣れな人だけで使用させたり、手の届くところに置かない。誤飲・けがの可能性があります。万一部品などを飲み込んだ場合は直ちに医師に相談する。
- 通気口の穴にピンや異物などを入れない。内部の電気回路がショートして発火・感電・けが・故障の原因になります。
- 測定結果を基に自己診断をしない。本製品は、熱中症・インフルエンザ感染を予防できるものではありません。
- 異常・故障がある場合には直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼する。発火・感電・けがの可能性がありま。

△ 注 意

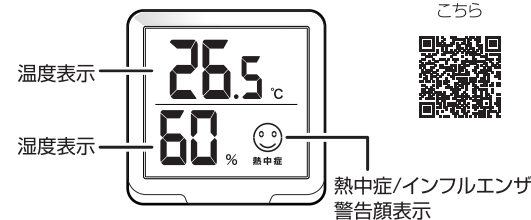
- 落としたり、ぶついたりなど強い衝撃を与えない。故障の原因になります。
- 表示部を強く押さない。破損してけがをするおそれがあります。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所、水のかかる場所に放置しない。
- 本体を直接火に当てたり、火の近くに置かない。
- 溶剤や薬液などをつけたり、かけたりしない。本体が変形し、故障の原因になります。
- 壁掛けで使用する場合は、落下などしないことを確認する。
- 置いて使用する場合は、水平で安定した場所に設置する。故障やけがなどの原因になります。

△ 電池について

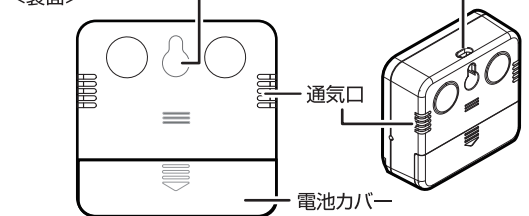
- ショートさせない。分解・加熱をしない。火中に投げない。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したらきれいな水で洗い流し目に入ったときはすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の極性(+-)を正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池を廃棄するときは、自治体の指示に従う。
- 使用・保管時に電池の発熱や変形など今までと異なることに気づいたときは使用を中止する。

各部の名称 ※本書に記載されているイラストはイメージです。

<表面>



<裏面>



- ※初めてご使用になる前に裏面の電池カバーを取りはずし、絶縁シートを抜き取ってください。
- ※ストラップは付属していません。

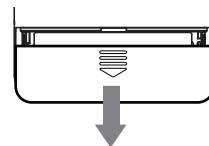
電池交換

※使用電池：単4形乾電池×1個

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短かったり、電池残量が不足している場合があります。

1. 裏面の電池カバーを取りはずす。
2. 古い電池を抜き取り、新しい電池をセットする。
 - ※電池の極性(+-)を間違えないように入れてください。
3. 電池カバーを閉じる。

矢印の方向へスライドさせて電池カバーを開けてください。



- 本製品は、医療用・商用ではありません。一般的な家庭室内やオフィスの中などの日常生活での温度・湿度の目安としてご使用ください。
- 本製品を商取引や公に温度・湿度を証明する場合には使用しないでください。
- 温度・湿度の誤差や、熱中症・インフルエンザ警告などによる二次的な損害等に対し、弊社は一切の責任を負えないことをご了承ください。

設置場所について

直射日光の当たる場所やエアコン・暖房器具・加湿器などの近くを避け風通しの良い場所でご使用ください。

- 通気口をふさがないように設置してください。正確な測定ができません。
- 屋外で使用しないでください。また、雨や水の当たる場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

お手入れ方法

本体の汚れは、濡らして固く絞った布などで拭き取ってください。

- 汚れがひどい場合は、台所用中性洗剤を少量含ませた布などで拭きとってください。
- 熱湯・アルコール・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。変色・変形・破損のおそれがあります。

故障かな？と思ったら

- 電源が入らない
 - ・絶縁シートを抜き取りましたか？
 - ・電池の向き（極性+-）を確認してください。
 - ・電池を交換してください。
- 表示が薄い
 - ・電池を交換してください。
- 「LL.L」「HH.H」「-.-」などの表示が出ている
 - ・温度が表示範囲外です。表示範囲より低いと「LL.L」、高いと「HH.H」の表示になります。
 - ・温度が0.0℃未満の時は湿度は「-.-」となります。
- 表示された数値がおかしい
 - ・初めてご使用になるときや場所を移動したときは、数値が安定するまで時間がかかるため、同じ場所に10～30分ほど置いてから確認してください。（急激な変化の場合はさらに時間がかかることがあります。）
 - ・通気口がふさがれていると正確な測定ができません。
 - ・エアコンの風が直接当たる場所や、暖房器具・加湿器などの近くでは正確な測定ができません。
- 数値が変化しない
 - ・湿度10%以下は「10%」、99%以上は「99%」の表示になります。

アフターサービスについて

修理やお取扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 修理を依頼されるとき

- 「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

2. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または「ドリテックお客様サポート」よりお問い合わせください。

輸入販売元 株式会社 ドリテック

〒333-0811

埼玉県川口市戸塚2-11-8

URL : <https://www.dretec.co.jp>

お客様サポート



■ **熱中症とは**(出典　ひと涼みしよう　熱中症予防　声かけプロジェクト)

熱中症は、気温が高いことなどで、身体の中の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体の調整機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。人の身体は、常に熱を作り出す一方、汗をいかたり、皮膚から熱を逃がすことで、体温の上昇を抑えています。このような体温の調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもり、体温が異常に上昇することで熱中症は起こります。また、真夏日や熱帯夜が多い年は、熱中症で亡くなる人も増えます。一般的には、最高気温が25度を超えると患者が発生し、30度を超えると熱中症で死亡する人の数が増えはじめると言われています。

日常生活における熱中症予防指針
(出典　日本生気象学会:日常生活における熱中症予防指針 Ver. 4, 2022)

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する 危険性が高い。外出はなるべく避け、 涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28℃以上 31℃未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の 上昇に注意する。
警戒 (25℃以上 28℃未満)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充 分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や 重労働時には発生する危険性がある。

WBGTとは？

酷暑の環境下での行動に伴うリスクの度合を判断するのに用いられる指標です。環境省ではこれを暑さ指数と称しています。人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射、気温の3つを考慮しており、湿球温度、黒球温度、乾球温度の値を使って計算します。スポーツや高温の職場などでの熱中症等を予防するために国際的に利用されており、ISO 07243、JIS Z 8504などとして規格化されています。

室内用の WBGT 簡易推定図 Ver.4																				
室内用 Ver.4 日本生気象学会		相対湿度 [%]																		
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100		
[℃] 温度	40	28	29	30	31	32	33	34	34	35	36	36	37	38	38	39	39	40		
	39	27	28	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	37	37	38	38	39		
	38	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	36	37	37	38		
	37	26	27	28	29	29	30	31	32	32	33	34	34	35	35	36	36	37		
	36	25	26	27	28	29	29	30	31	31	32	33	33	34	34	35	35	36		
	35	24	25	26	27	28	28	29	30	30	31	32	32	33	33	34	34	35		
	34	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31	31	32	32	33	34	34		
	33	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31	32	33	33		
	32	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29	29	30	31	31	32	32		
	31	21	22	23	24	24	25	26	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31		
	30	21	21	22	23	23	24	25	25	26	26	27	28	28	29	29	30	30		
	29	20	21	21	22	23	23	24	24	25	26	26	27	27	28	28	29	29		
	28	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28		
	27	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27		
	26	18	18	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26		
	25	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25		
	24	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24		
	23	15	16	16	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	23		
22	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	22			
21	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	19	20	20	21	21			
【注意】 この図は「日射のない室内専用」です。屋外では使用できません。 また、室内でも日射や発熱体のある場合は使用できません。そのような環境では、黒球付きの WBGT 測定器等を用いて評価して下さい。																				

■ **日常生活での熱中症予防について**

熱中症予防には水分・塩分補給をすることが大切です。
こまめに水分・塩分補給ができるように、スポーツ飲料などの飲み物を持ち歩きましょう。
特に幼児・学童や高齢者は、のどが渇く前に飲む、空調が効いた場所で休憩をするなどして熱中症対策をしてください。

・ **水分・塩分補給の目安**
(出典　日本生気象学会:日常生活における熱中症予防指針 Ver. 4, 2022)

- (1) 日常生活における水分補給：通常の生活では食事等に含まれる水分を除いた飲料として摂取すべき量は1日あたり 1.2ℓを目安とする。
- (2) 運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。
大量の発汗がある場合は、スポーツ飲料などの塩分濃度0.2%程度の水分を摂取する。
作業前：コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する(コップ1杯200ml)。
作業中：コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
- (3) 飲酒時の補給：アルコール飲料は利尿を促進するので、飲酒後は水分・塩分を十分に補給する。
- (4) 空調装置使用時の補給：空気が乾燥するので、こまめに水分・塩分を補給する。
- ・ **特に注意を要する事項(熱中症弱者の温度基準域)**
(出典　日本生気象学会:日常生活における熱中症予防指針 Ver. 4, 2022)

- 以下の項目に該当する場合は、特に注意が必要であり、一つ上の温度基準域の「注意事項」を適用する。本人のみならず、周囲の人々の注意も必要である。
- a. 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
b. 65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
c. 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
d. 仕事や運動(スポーツ)に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人は熱中症を発症しやすい。
e. 基礎疾患(高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など)のある人、寝たきりの人は発症しやすい。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人も発症しやすい。抗コリン作用のある薬(鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β 遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬)は発汗抑制を来たす可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。*医薬品添付文書に、「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のある薬品。
- f. 発熱、下痢、二日酔い、睡眠不足等、体調不良の場合は発症しやすい。
g. 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合は発症しやすい。
h. 急激に高温となった場合、例えば暑さに慣れていない6月以前、また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動(涼しい場所から高温の場所へ)の場合および気象変化などで急激に高温となった場合なども発症しやすい。

■ **本製品の熱中症警告表示方法について**
湿度と湿度の状態が下記の警告に該当すると表示されます。

	注意		警戒	厳重警戒	危険
熱中症 (WBGT)	※WBGT21℃未満				
					
	警告表示なし	熱中症	熱中症	熱中症	熱中症

- 熱中症の危険と対策
- ・ 注 意：熱中症の危険は少ないですが、兆候に注意しましょう。
スポーツなどの活動をしている方は、適度な水分補給を心がけましょう。
- ・ 警 戒：熱中症の危険が増えています。
スポーツなどの活動をしている方はこまめに休息をとり積極的に水分補給をしましょう。激しい運動は30分おきくらいに休息をとりましょう。
- ・ 厳重警戒：熱中症の危険が高まっています。
スポーツなどの活動をしている方は激しい運動を避けてください。体力の低い方、暑さに慣れていない方は運動を中止してください。積極的に休息と水分補給を行ってください。
- ・ 危 険：熱中症の危険があります。
特別の場合以外はすべての運動を中止してください。体温の上昇に注意し、十分な休息と水分補給を行ってください。

■ インフルエンザ警告表示方法について 湿度とインフルエンザウィルスの関係				
顔表示	絶対湿度 ^{※1}	インフルエンザウィルス 感染の危険度	感染対策	生存率 ^{※2}
安全 	17g/m以下	通常の生活環境	温度・湿度を適度に 保つようにしましょう	ほぼ0%
警告表示なし				
注意 	11g/m以下	インフルエンザウィルス が生存可能 感染に注意が必要な環境	温度・湿度の変化に注意 しましょう	5%
インフルエンザ				
警戒 	7g/m以下	インフルエンザウィルス の生存に適した状態 感染しやすい環境	加湿器などで温度・湿度の調 節をしましょう ※過剰に加湿した場合はカビ の発生に注意してください。	20%
インフルエンザ				

- ※1 絶対湿度
一般的に湿度を表す場合は相対湿度であり、ある温度の空気中に含むことができる最大限の水蒸気量に比べて、実際のどの程度の水蒸気量を含んでいるかを%(単位)で表します。絶対湿度とは、温度に関係なく1m³の空気に含まれる水蒸気の質量のことでg/m³(単位)で表します。例えば相対湿度が同じ50%の場合でも、20℃では絶対湿度約9g/m³、30℃では15g/m³と異なります。本製品のインフルエンザ警告表示は絶対湿度に換算した値で表示しています。
- ※2 生存率
空気中に放出されたインフルエンザウィルスの各環境下における6時間後の値。
※熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示のどちらも出ない場合があります。
また、熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示は自動で切り替わります。

仕様

品番	O-448	
品名	デジタル温湿度計「リテーモ・ミニ」	
寸法	約 幅 55× 奥行 22× 高さ 53mm	
質量	約 41 g (電池を含む)	
表示範囲	温度	－10.0～50.0℃
	湿度	10～99%
精度 ※1	温度	0.0～40.0℃：±1℃ －10.0～－0.1℃、40.1～50.0℃：±2℃
	湿度	50～80%：±5% 20～49%、81～95%：±10%
測定間隔	約 10 秒	
使用電池	単4形乾電池 × 1 個	
電池寿命	約 1 年	
材質	ABS 樹脂	

- ※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ※1 精度範囲外の湿度は目安です。